

令和7年度 社会資本総合整備計画<事後評価>

整備計画名

袋井駅南地区における機能性の高いまちづくり

(1)事業の目的

袋井駅南北自由通路、南口駅前広場及びそのアクセス道路の整備に併せ、都市計画道路をはじめ、区画道路、水路、公園等の公共施設の整備改善により、市の顔としてふさわしい魅力ある地区とすることを目指している。

(2)指標

指標①	指標設定 考え方	都市計画道路(駅南循環線)整備の旅行速度向上による走行時間の価値の向上 都市計画道路(駅南循環線)整備で旅行速度向上による走行時間の価値を7.7万円/台・年から、17.4万円/台・年に向上させる。 (評価時点での時間価値向上) = (評価時点での追加整備延長) / (評価時点での旅行速度の向上) × (時間価値原単位(乗用車))
	達成状況	令和6年度末の最終実績値は26万円/台・年であり、目標(17万円/台・年)を達成した。
指標②	指標設定 考え方	緊急車両連絡不良率の改善 緊急車両の連絡不良率(幅員4m未満道路率)の減少。 (幅員4m未満道路の延長割合) = (幅員4m未満道路の延長) / (生活関連経路の全延長) × 100
	達成状況	令和6年度末の最終実績値は28%であり、目標(41%)を達成した。

計画の成果目標	定量的指標		
	R2当初	R6末最終目標	R6末最終実績
①走行時間の価値の向上	8万円/台・年	17万円/台・年	26万円/台・年
②幅員4m未満道路の延長割合	63%	41%	28%

令和7年度 社会資本総合整備計画 < 事後評価 >

(3) 指標に関連する実施事例

位置図



着手後



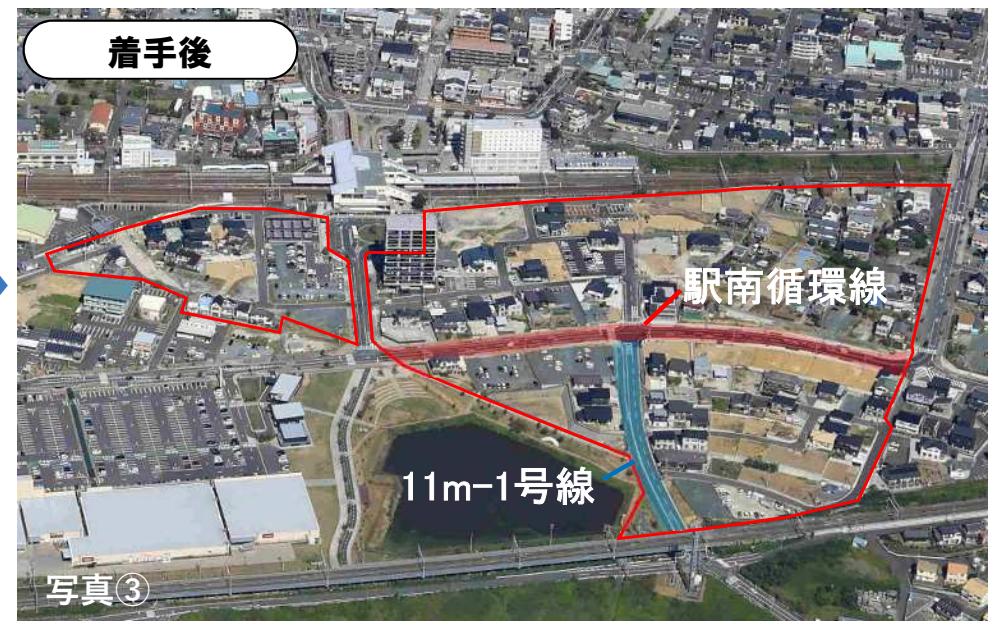
写真② 駅南循環線

着手前



写真① 駅南循環線

着手後



写真③

令和7年度 社会資本総合整備計画＜事後評価＞

(4) 定量指標以外の効果発現状況

主要地方道袋井大須賀線JRガード下が大雨で浸水し通行止めになった際、以前までは袋井駅南から袋井駅北へ通行するルートがなかったが、駅南循環線の開通により、駅北へ通行するルートの確保ができた。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

当事業は市における都市拠点の中心核として位置づけられていることから、引き続き社会資本整備総合交付金を活用し、事業を推進する。